2005年9月吉日

第２０回　日本ゴマ科学会大会のご案内

日本ゴマ科学会

晩秋の候となりましたが、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第２０回日本ゴマ科学会大会が名古屋大学大学院大澤俊彦教授を大会会長として、名古屋において１０月２１日に開催される運びとなりました。今回は、「ごまの栽培と機能」と題したシンポジウムと一般講演を行います。是非多数の皆様がご出席くださいますようお願い申し上げます。

1.　日　時：平成１７年１０月２１日（金）１２時３０分より

2.　場　所：名古屋大学　野依記念学術交流館　：名古屋市千種区不老町

3.　行　事：時間等に若干の変更があるかもしれません。

　１）評議員会　　11：00～12：20

　２）総　　会　　12：30～13：00

　３）シンポジウム 13：10～15：10

　４）一般講演　　15：20～17：40

　５）懇親会　　18：00～20：00

4.参加申込み締切り：平成１７年１０月１５日（土）

（同封のはがきに必要事項をご記入の上お申込みください。欠席の場合も必ず返信下さい）

5.申込み，問い合わせ先：日本ゴマ科学会　事務局　伊藤義朗

竹本油脂株式会社　ごま油事業部内
〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町１１
TEL：0533-68-2116
FAX：0533-69-5111
e-mail：goma-sci@tkc.takemoto.co.jp
（なお、問い合わせは出来るだけe-mailにてお願いします）

6.参 加 費：会員（賛助会員は除く）無料，　一般　2,000円，学生　1,000円

7.懇親会費：5,000円

8.懇親会場所：グランピアット山手通店：名古屋市昭和区山手通１－２４

9.宿　　泊：各自でご予約下さい。

第20回日本ゴマ科学会大会　講演予定

シンポジウム　１３：１０～１５：１０

「ゴマの栽培と機能」（世話人：田代　亨、山田恭司）

1. ゴマの化学成分の変動要因　－遺伝資源と栽培環境－
   田代　亨　（千葉大学園芸学部）

2. ゴマにおける品種育成の現状と展望
   勝田真澄　（作物研究所畑作物研究部資源作物育種研究室）

3. ゴマリグナン生合成酵素遺伝子の機能解析
   小埜栄一郎　（サントリー先進技術応用研究所・植物科学領域）

4. ゴマにおける花および花外蜜腺の分化に関与する遺伝子のクローン化と解析
   ○ 山田恭司，市川　優，　増田恭次郎，若杉達也（富山大学・大学院・理工学研究科）

休　憩　　１５：１０～１５：２０

一 般 講 演　１５：２０～１７：４０

1. ゴマの果実（さく果）の裂開に関わる遺伝子の探索
   ○干田学、大橋由弥、増田恭次郎、若杉達也、山田恭司（富山大学・院・理工学研究科）

2. ゴマおよびその脱脂粉末の微生物培養物にみられる血液機能改善効果
   ○川合恵美子、西堀すき江（東海学園大学）、小泉幸道（東京農業大学）、
   並木和子（椙山女学園大学）

3. 発芽ゴマ食投与ラット血清中のリグナン様成分の検出」
   石山絹子・辻原命子・長島万弓・福田靖子

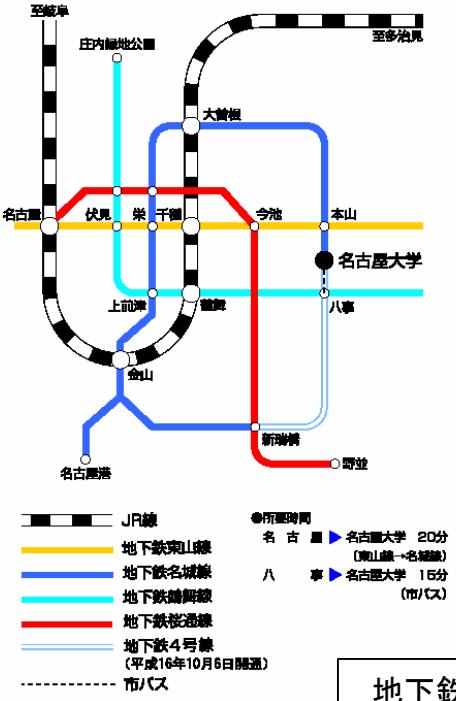
4. ゴマ摂取と脳内γ-tocopherol濃度について
   ○山田和、山下かなへ(椙山女学園大学) 協力:稲吉正紀(竹本油脂株式会社)

5. 麹菌発酵による新規ゴマリグナン化合物の生成
   岡田実紀、福本修一(ポッカ中央研究所)、稲吉正紀(竹本油脂)、
   三宅義明(東海学園・人間健康)、中村宜督（岡山大院・自然科学）、
   大澤俊彦（名大院・生命農学）

6. 抗酸化食品要因による機能性発現機構に関する研究
   ○土江愛和、大澤俊彦（名大院・生命農学）、稲吉正紀（竹本油脂）、
   三宅義明（東海学園・人間健康）、中村宜督（岡山大院・自然科学）

7. ゴマ種子オイルボディー構成タンパク質の免疫学的解析
   ○吉田元信、新見愛、種坂英次（近畿大学農学部）

会場へのご案内



〔JR名古屋駅から地下鉄名古屋大学駅まで〕

地下鉄東山線名古屋駅で藤ヶ丘行きに乗車し、本山駅で名城線に乗り換え、名古屋大学駅で下車。2番出口より徒歩5分。

〔名古屋空港から地下鉄名古屋駅まで〕

空港で名古屋駅行きのバスに乗車（30分程度）、名古屋駅からは上記を参照。

懇親会会場　グランピアット山手通店

〒466-0815　名古屋市昭和区山手通1－24　　TEL 052-834-8973